日本海新聞　平成３０年７月１２日（木）

育児の楽しさ、苦労を肌で

手遊びや読み聞かせ　浜坂高生体験授業

幼児に絵本を読み聞かせする浜坂高生＝11日、新温泉町の浜坂子育て支援センター

新温泉町の浜坂高の生徒は11日、近くの浜坂子育て支援センターを訪れ、子どもたちと交流した。絵本の読み聞かせや手遊びを通して保育を体験し、育児の楽しさや苦労の一端に触れた。

子どもの発育や、地元の保育環境について学ぶ授業「子どもと地域文化」を選択する3年生13人が訪問。毎年、町内の施設の協力を得て、保育の体験学習に取り組んでいる。

0～2歳児15人を前にし、生徒らは最初、ぎこちなく緊張した様子。一緒にままごとやボール遊びなどをするうちに打ち解けて、子どもたちの笑顔を引き出していた。

生徒は6月に、絵本の読み聞かせ方や保育の心構えなどを学習。自分たちで選んだ本の読み聞かせと手遊び歌を披露し、和やかに交流していた。

宮脇響基さん(16)は「最初は泣かれてしまって戸惑ったけど、一緒に遊んで慣れていくと楽しかった。子育ての大変さを感じられた」と話していた。

（松本妙子）